

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第17回理事会議事次第

日時：平成27年4月30日（火）14:00~17:00

場所：沖縄県庁4階第1会議室

1 開会

2 議 事

(1) 事務局および各委員会からの報告（資料1）

(ア) 事務局からの報告

- ①おきなわサンゴ礁ウィークについて
- ②平成27年度事務委託について
- ③寄付対応について
- ④リーフレット印刷について

(イ) *以下順に、各委員会からの報告。なければ割愛。

(2) 第8回総会について（資料2）

(ア) 総会の日程、スケジュール

(イ) 総会の議案

- 第1号議案：平成26年度活動報告
- 第2号議案：平成26年度収支決算報告
- 第3号議案：平成27年度事業計画（案）
- 第4号議案：平成27年度収支予算（案）
- 第5号議案：その他

(3) 平成27年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業（資料3）

(ア) 各種要領と要綱

(イ) 平成27年度助成事業スケジュール

(ウ) 審査会構成員について

(4) 将来委員会について（資料4）

(5) 交流会について（資料5）

(6) その他

資料1：事務局および各委員会からの報告

資料2：第8回総会について

資料3：平成27年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業

資料4：将来委員会について

資料5：交流会について

役員名簿

役職	氏名	所属
会長	中野 義勝	
副会長	吉田 稔	八重山サンゴ礁保全協議会
理事	安部真理子	沖縄リーフチェック研究会
	案納昭則	NPO 法人沖縄県ダイビング安全対策協議会
	池間勉	沖縄県宮古事務所
	猪澤也寸志	エコガイドカフェ
	上原直	NPO 法人グローイングコーラル
	岡地賢	コーラルクエスト
	梶原健次	
	中野圭一	環境省那覇自然環境事務所
	木村匡	
	桑江直哉	泡瀬干潟を守る連絡会
	後藤亜樹	
	権田雅之	WWF ジャパン
	佐藤崇範	
	謝名堂聡	沖縄県自然保護・緑化推進課
	新村一広	宮古島マリンリゾート協同組合
	西平守孝	
	花井正光	NPO 法人沖縄エコツーリズム推進協議会
平川節子	特定非営利活動法人マングローブ EE クラブ	
平田春吉	一般社団法人渡嘉敷ダイビング協会	
藤田喜久		
監査役	金城 孝一	沖縄県衛生環境研究所
	山崎 仁也	沖縄県立博物館・美術館

報告事項

(1) 事務局および各委員会からの報告

(ア) 事務局からの報告

①おきなわサンゴ礁ウィークについて

- 石垣市では、2011 年から、地域が主体となり 3 月 5 日（サンゴの日）の前後一週間をサンゴウィークとし、サンゴ礁の保全に関する様々な活動を展開しています。そこで、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、石垣市で取り組まれている活動を沖縄県全体に広げ、多くの県民の参加のもと、これらの活動が相互に繋がりを持ち、サンゴ礁を大切にする県民の心を育むことを目的として、平成 26 年 3 月に第一回目となる「おきなわサンゴ礁ウィーク 2014」を開催しました。

平成 27 年には、第二回目となる「おきなわサンゴ礁ウィーク 2015」を平成 27 年 2 月 28 日（土）～3 月 8 日（日）に実施しました。

- 期間中はシンポジウムや磯の観察会などの体験型イベントなど 24 団体の共催によるイベントが県内各地で開催されました。

②おきなわサンゴ礁ウィークの実施について

・公募

平成 26 年 12 月 12 日～平成 27 年 1 月 9 日の期間に当協議会メーリングリストにてイベント実施者の募集を行いました。また、昨年度おきなわサンゴ礁ウィークにてイベントを実施していただいた団体に協力を依頼しました。

イベントを実施するにあたり、会場使用を希望する団体に対しては、県立博物館・美術館の子どもアトリエ、県民アトリエを当協議会が借用し、会場を使用したイベントを実施できるようにしました。

・イベントの取りまとめ

応募期間中に、応募があったイベントは計 24 でした。

各イベントの主催者、イベント名、開催日時については、表 1（サンゴ礁ウィーク 2015 期間中に開催されたイベント一覧）に示しました。

・チラシ・ポスターの作成

応募のあった 24 のイベントについては、チラシ、ポスターにイベント情報を掲載し、チラシ 10,000 部、ポスター 200 部を作成しました（図 1（チラシ表）、図 2（チラシ裏））。

- ・チラシ・ポスターの配布

チラシ・ポスターの配布については、共催者である沖縄県自然保護緑化推進課の協力により、県関係機関、市町村、市町村立図書館・博物館、県内大学、県立高校、観光関係（沖縄観光コンベンションビューロー、旅行業協会、ホテル旅館組合等）へ配布し、広報依頼を行いました。また、県教育事務所（国頭、中頭、那覇、島尻、宮古、八重山）の協力を得て、県内の小中学校へ配布しました。報道機関については、後援依頼、広報依頼、取材依頼をしました。

表1. サンゴ礁ウィーク 2015 期間中に開催されたイベント一覧

NO	主催者	イベント	期間
1	沖縄県	わたしの海をかたちにリレートークとワークショップ	2月28日
2	沖縄県立博物館・美術館/沖縄科学技術大学院大学	OISTサイエンストリップの部編2015ーサンゴのキミチー	3月1日
3	日本サンゴ産学会若手の会・沖縄の潮間帯2014WG	にーにー・なーなーが語る沖縄のサンゴ礁ー若手研究者によるサンゴ礁紹介	3月8日
4	エコガイドカフェ	サンゴラーニング・チームビルディング『サンゴ礁回復を支援せよ!』	3月8日
5	(有)海の魂	「吾輩でや行こう、さんご様!」	2/28~3/8
6	久米島ホテルの会	ホテルがつながる島の川とサンゴの海	2/28~3/8
7	女米島ホテルの会	ホテルがつながる島の川とサンゴの海	3/7, 3/8
8	NPO法人美ら海振興会	国立公園ボート・スノーケルコース	2/28~3/8
9	日本自然保護協会	冠嶺漁港の海洋生物調査	3月8日
10	日本自然保護協会	沖縄のジュゴンのことについて考える	3月7日
11	比嘉川のヤック・イーズ、海うさぎ	比嘉川でのマングローブカヤック体験	2月28日
12	ニライ地区のサンゴを守る会	親子でサンゴの海の観察会	3月3日
13	チーム美らサンゴ	サンゴってなに!? みんなでサンゴについて勉強しよう	3月7日
14	源の上うみそら公園	サンゴのことかどうでもよく分かる海遊び/シュノーケリング	2/28, 3/8
15	源の上うみそら公園	「沖縄丸」4名乗/クリアカヤック体験	3/1, 3/7
16	(一財)沖縄美ら島財団総合研究センター	美ら海自然教室「サンゴ礁の観察会」	3月7日
17	(一財)沖縄美ら島財団総合研究センター	「サンゴ礁における多種共存の成り立ち」	3月1日
18	特定非営利活動法人宮古島島の環境ネットワーク	周辺の生き物観察会	3月7日
19	特定非営利活動法人宮古島島の環境ネットワーク	ボランティア海岸清掃	3月8日
20	NPO法人 コーラル沖縄	サンゴの苗床づくり体験	2月29日
21	環境省那覇自然環境事務所	鹿児島県鹿児島国立公園指定1周年記念イベント〜プロが語る鹿児島県鹿児島国立公園の魅力〜	①0/1(遊覧船会場) ②3/2(屋間味会場)
22	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会	「サンゴ礁の海に住まい、海を愛さ(ルビカからぞ)する」	3月8日
23	石垣島サンゴウィーク2015実行委員会	石垣島サンゴウィーク2015	2/27~3/5
24	一般社団法人久米島の海を守る会	赤土流出対策実施予定地の見学会	3月7日



図1. チラシ (表)



図2. チラシ (裏)

・ホームページの作成

おきなわサンゴ礁ウィーク2015について、当協議会ホームページを開設しイベントの詳細について案内するようにしました (図3)。



図3. ホームページへの掲載状況

②実施結果について

・イベント開催状況

平成27年2月28日（土）～3月8日（日）におきなわサンゴ礁ウィークを開催しました。後日、イベント主催者へ依頼をした実績報告などによると、2つのイベントにて参加者が集まらず実施ができなかったと報告がありました。

その他のイベントについて、報告のあった内容について以下に示します。

●わたしの海をかたち（リレートークとワークショップ）

- ・実施主体： 沖縄県自然保護緑化推進課／沖縄県環境科学センター
- ・参加者数： 約80名

●サンゴ礁の海に住まい、海を愛さ（かなさ）する

- ・実施主体： 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
- ・参加者数： 約15名

●比謝川でのマングローブカヤック体験

- ・実施主体： 比謝川カヤック、イーズ、海うさぎ
- ・参加者数： 19名（8組）小学校中・高学年のお子様との親子での参加が8名
天候は曇りで肌寒い気候だったがキャンセルは出なかった。
定員がオーバーすることもなく、問い合わせ件数がそのまま予約件数になった。
- ・所感など

お子様だけでなく、親の方にも「良い経験になった」と楽しんで頂けた。アクティビティの経験をする場所があることが広がっていくと沖縄の自然やサンゴの必要性、他県とは違う環境や自然があることを知って頂けると感じた。微力ながらまたイベントへ参加させて頂ければと思っております。



●OIST×沖縄県立博物館・美術館サイエンストリップ

- ・実施主体： 沖縄県立博物館・美術館／沖縄科学技術大学院大学
- ・参加者数： 71名（子ども向けイベント22名／大人向け49名）

●合言葉で行こう！！さんご畑

- ・実施主体：有限会社海の種
- ・参加者数：277名
- ・所感など

前回のキャンペーンを覚えて下さるお客様のご利用があり、徐々にサンゴ礁ウィークのイベントが県内の方にも広がってきているという印象を受けました。サンゴ礁ウィーク前半は、それほどお客様は多くなかったが、たまたま県内のニュース番組に取り上げて頂く機会があり、放送後は、番組を見たお客様が多く訪れて下さいました。県外のお客様のご利用が少ない印象を受けたため、ホテル等にも周知をしてはいかがでしょうか。



●ボランティア海岸清掃

- ・実施主体：NPO法人宮古島海の環境ネットワーク
- ・参加者数：NPO法人の会員、新聞等の呼びかけ記事を見て集まった市民ら21名
- ・所感など

宮古島市の場合、ボランティアが回収したゴミはクリーンセンター（ゴミ焼却場）へ自己搬入しなければならず、清掃活動を広げる阻害要因となっている。ゴミの搬入は行政の手で実施するなどの仕組み作りが必要と考える。「おきなわサンゴ礁ウィーク」は、沖縄県全体の取り組みであるが、広がりにも今一歩欠けているように思われる。ポスター掲示やチラシの配布にとどまらず、メディアを活用した（離島を含めた）全県的な広報活動を期待する。



●海辺の生きもの観察会

- ・実施主体： NPO法人宮古島海の環境ネットワーク
- ・参加者数：小学生8名、その兄弟の未就学児6名と保護者7名の計21名
- ・所感など

今回は助成金を自分たちで活用し、おきなわサンゴ礁ウィークのポスターと共に自分たちの活動に関するポスターを作成することができたが、おきなわサンゴ礁ウィークに関する住民の認知度は低く、参加してくれたのは、当イベントを地元新聞のお知らせ欄に載せてそれを見て知った人がほとんどだった。もう少し事前に認知されているとよいと思う。

参加するのは低年齢の子どもが多いので、難しい話より、サンゴじゃんけんといった単純な遊びが盛り上がった。天気もよく、みんな楽しんでいたと思う。



●サンゴってなーに？ サンゴついて学ぼう

- ・実施主体： チーム美らサンゴ
- ・参加者数：2名
- ・所感など

もう少し準備期間も含め告知等も前倒しにしていただければ、助かります。今年は昨年に比べ、集客がかなり悪くなってしまい、チームとしての告知も足りなかったのかもしれないが、全体的にどうだったかなど、他団体の集客状況などについても、後日共有していただきたいと思います。



●にーにー・ねーねーが語る沖縄のサンゴ礁～若手研究者によるサンゴ礁紹介

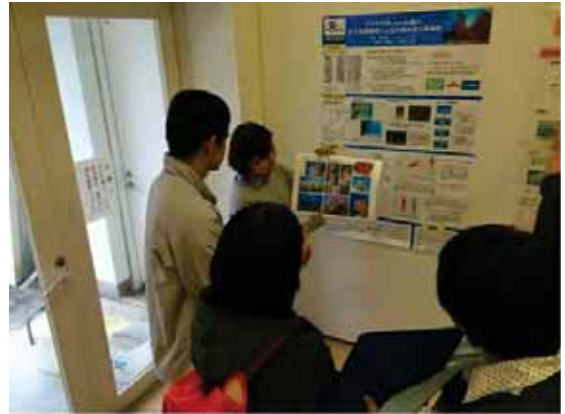
- ・実施主体： 日本サンゴ礁学会若手の会・沖縄の潮間帯 2014WG
- ・参加者数：50名（親子連れ、高校生、予備校生、60代70代夫婦、大学生、研究者）
- ・所感など

サンゴを初めとするサンゴ礁の生き物についてや、それらを調査する研究者とその研究について、また、沖縄の海岸環境について、沖縄県に住む人々に少しでも知って頂くことができ、一緒に考える機会を頂けたことに厚く感謝いたします。

海岸の40年前と現在の様子を比較した写真展では、来場者の方から当時の海岸線や海岸利用についての貴重なお話を伺うことができました。また、県民の方々と一緒に沖縄の海岸環境についても考える機会を頂きました。

現在90地点の写真パネルを次にどこで展示しようか思案中ですので、もし同様の機会がありましたら教えていただけるとありがたいです。

昨年も参加させていただいたのですが、比較すると来場者数が半数程度ではなかったかと思えます。今後は広報にも力を入れたいと思えます。



③新聞などの掲載状況について

- ・新聞などへ掲載された記事を以下に示します。



平成27年3月22日(日)	
琉球新報(りゅうたん)	1面



サンゴの秘密 学んだよ



OIST・県博が科学イイベント

5日の「サンゴの日」を前に、人と自然との関わり方を考えようと、沖縄科学技術大学院大学（OIST）と那覇市の県立博物館・美術館は

1日、科学体験プログラムイベント「サンゴのキモチ」を同館で開催した。写真。

小中学生向けのプログラムでは、22人が参加。OIST数理生物学ユニットのロバート・シンクレア准教授の科学トークに耳を傾けた。魚やオニヒトデがサンゴを襲う様子についても、ゲームを通して学んだ。

山崎陽登くん（銘对小5年）は「オニヒトデから逃げるのは絶望的だった」と苦笑い。友人の齋藤匠くん（同）は「教授の科学トークは面白かった」と目を輝かせた。

生物が大好きという河野瑠璃くん（カトリック小4年）は、「サンゴの卵の多くが食べられる」と話にびっくりしたと話した。

平成27年3月2日(月)

沖縄タイムス 30面

話題

海の生き物クッションに 「サンゴ礁ウィーク」

サンゴの日（3月5日）前後の約1週間、サンゴや海のこを学び体験するイベントが続く「サンゴ礁ウィーク」が2月28日スタートし、那覇市の県立博物館・美術館では海の生物の紙クッションや紙モビールを作る親子向けのワークショップが開かれた。

紙クッション作りでは、身近な素材として新聞紙を材料にイラストレーターのpokke104さんが作り方を伝授。子どもたちは新聞紙の黒い文字に負けないようしっかりとクレヨンを塗りつつ、写真なども参考にクジラやクマノミ、タコなど海の生き物を描いてはクッションに仕上げた。写真。

海が好きでよく浦添市のイソ（サンゴ礁に囲まれた浅い海）などへ観察に行くという那覇市の小学2年生、堂本蒼一朗君はワークショップで初めてカツオ



ノエボシのこを知り「毒があるというから気になるけど、探してみたい」と元気よく話した。

平成27年3月3日(火)

沖縄タイムス 26面

②平成 27 年度の事務委託費について

平成 23 年度から協議会事務局作業（協議会事務局作業補助、助成事業に関する事務、会計事務、HP の維持管理など）の一部を、沖縄県環境科学センターへ委託し実施しており、今年度も引き続き、実績がある沖縄県環境科学センターへの委託を行いたい。

委託の内容：協議会事務局作業補助、助成事業に関する事務、会計事務、HP の維持管理
委託金額：414,720 円

御 見 積 書

平成27年4月30日

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 中野 義勝 様

件 名：平成27年度事務費

合計金額: ¥414,720 - (消費税を含む)

下記のとおり見積もり致しますので、よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

〒901-2111 沖縄県浦添市字経塚720番地
一般財団法人 沖縄県環境科学センター
代表理事 福村 圭介

TEL:098-875-1941
FAX:098-875-1943

項 目	単価 (円)	数量	金額 (円)	摘 要
1. 直接人件費				
・ 理事会等庶務	20,000	7	140,000	1名 × 7日
・ 会計庶務	20,000	7	140,000	1名 × 7日
・ ホームページ管理	20,000	3	60,000	1名 × 3日
2. 直接経費				
・ 資料印刷費等	10,000	1	10,000	
小 計			350,000	
3. 諸経費(10%)			34,000	直接人件費 × 0.1
小 計			34,000	
調整金額				
税 額			30,720	
合 計(消費税含む)			414,720	

③寄付対応について

日本ハム株式会社、洋服ポストさんごほぜん（東京在住のイラストレーター風間重美さん）、千花夏風（千葉市のエイサー団体）、カーボンオフセット（沖環科）から寄付を受け入れた（理事会で承認済み）。

日本ハム株式会社

概要：持続可能な社会の実現に向けた企業の社会的責任（CSR）の取り組みの一環として行われている自然保護活動としての寄付。

『サンゴ保全活動』

www.nipponham.co.jp/csr/environment/conservation/choral/

洋服ポストさんごほぜん（東京在住のイラストレーター 風間重美さん）

概要：衣服のリサイクルシステムを活用した寄付。着なくなった洋服を回収する日を開催者が定期的に設け、集まった洋服を洋服ポストに買い取りしてもらおう。そこで発生したお金から実費を引いたものを募金に回せるシステム。

『洋服ポスト さんごほぜん』

www.youfukupost-sangohozen.tumblr.com

www.facebook.com/youfukupostsangohozen

千花夏風（千葉市のエイサー団体）

概要：イベントでの募金の呼びかけ。

イベント内容

場 所：千葉市美浜区 イオンマリリンピア前広場

日 時：2014年5月31日(土) 10:55～16:00（雨天中止）

タイトル：楽しいさあ！嬉しいさあ！かりゆし芸能チャンプル@マリリンピア

出演団体：エイサー(複数団体)、琉球舞踊、琉球空手、三線、バンド演奏(沖縄関連曲)、和太鼓、沖縄手遊び、カチャーシーなど

※観覧無料

カーボンオフセット（沖環科）

概要：沖縄県環境科学センター（沖環科）が請け負っているカーボン・オフセット推進のための、中小企業等に対するソフト支援事業で、中小企業がカーボン・オフセットを実施した際に、沖環科より沖縄の自然保護団体に、寄付（1000円/1件）をする仕組み。

募金の呼びかけなどを行う場合は、協議会の紹介やサンゴ礁の現状などの資料を求められる。今後同様な依頼に備えて、引き続き以下のような資料等を収集・作成したい。

- ・写真（保全が必要な海、理想的な海、保全に関する写真）
- ・協議会紹介ポスターの増刷
- ・協議会のロゴマークステッカー作成

④リーフレット印刷について

協議会紹介用のリーフレットを 2000 部印刷した。配布に協力いただける理事は必要部数を事務局に連絡して下さい。

（イ）各委員会からの報告

報告がなければ省略